

◎経営協議会の学外委員からの意見、提言等に対し、法人運営の改善に活用した取組例

- (1) 経営協議会及びその他の機会に経営協議会学外委員からの意見については、その場で回答するほか、その内容等を別途取り纏め、関係する委員会、事務局担当課等にて検討
- (2) 大学としての新たな取り組み等について、事前に経営協議会で説明を行い、経営協議会学外委員から意見を聴取し、今後の参考としている。
- (3) 検討し、改善した事項(又は改善する)については、経営協議会の場で報告等を行っている。
- (4) 具体的な取組例については下記のとおり。

開催回数	年月日	意見、提言等の内容	対 応
第2回	R1.6.24	<p>来年は、鹿児島国体が開催されるので、連携協定は既に結んでいると思うが、学生の動員等社会貢献を含めた来年度の具体的な取り組みを検討して頂きたい。</p>	<p>1.鹿屋市との連携 鹿屋市国体推進室から、本学の女子バレーボール部、漕艇部、自転車競技部、カヌー部の4課外活動団体が燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会鹿屋市PR隊の委嘱を受け、鹿屋市内で行われるイベント等でのPR活動や国体を盛り上げるために制作された「国体ダンス」の市内小中学校への普及・指導に取り組んでいる。この活動は国体が開催される令和2年度まで実施される。</p> <p>2.鹿児島県との連携 ①鹿児島県選手の競技力の向上を図ることを目的に本学と鹿児島県との連絡会を開催し、選手サポート(育成・強化・確保)及び指導者サポート(確保・要請・資質向上)での連携を図っている。</p> <p>②鹿児島国体終了後に開催される全国障害者スポーツ大会での「選手団サポートボランティア」養成校として本学をはじめ鹿児島県内17の大学、短期大学、医療福祉系専門校が県から委嘱を受けている。今後、各協力校がボランティア養成の研修を実施し、大会期間中に本学から約50名の学生ボランティアを派遣する予定である。</p> <p>③令和元年10月20日(日)に鹿児島アリーナにおいて開催される2020燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会カウントダウンイベント「燃ゆる感動鹿児島スポーツフェスタ2019」に鹿屋体育大学のコーナーを設置して参加した。</p>